

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧 1-25-2
園名	キッズサポート多摩めぐみクラブ

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光

<テーマの設定理由>

すりガラスに映る人の影や天井からつるしてあるモビール、自然光が保育室内に入ってくると光や物が動いている様子に気がつき上を見上げたり目で追ったり手を伸ばして触れようとしているので子どもたちの一番身近にある光と影をテーマにし、自然光だけでなく大人の力で子どもたちに光と影を手の届く範囲に近付けてまた違った興味や関心を深める為。に関する子どもの興味関心

### 2. 活動スケジュール

- 室内での光の動き●
- 外での光の動き●
- 色のついた影●
- 自然光での影の気付き●
- 室内での色が付いた影や形●
- 一人の空間での光と影●

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

●室内での光の動き●

懐中電灯

●外での光の動き●

マグビルド

●色のついた影●

マグビルド カラーセロハン

●自然光での影の気付き●

●室内での色が付いた影や形●

プロジェクター カラーセロハン 懐中電灯

●一人の空間での光と影●

段ボール カラーセロハン 懐中電灯

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

●室内での光の動き●

窓から出る光に注目して見たり、室内を暗くして懐中電灯で照らす

●外での光の動き●

鏡や反射材を用いて太陽の光が反射した動きを見る。

●色のついた影●

散歩先で影が出る所にマグビルドや透ける積み木を置いて色の付いた影を見してみる。

●自然光での影の気付き●

散歩中、影が出る所で一緒に動いてみたり、手を振ってみたりする。

●室内での色が付いた影や形●

カラーセロファンを懐中電灯に当てたりプロジェクターを使って色の付いた影や形を作る。

●一人の空間での光と影●

箱の中に入り集中できる自分だけの空間で光や影を見つけ新しい発見を試みる。

## <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

### 外での活動

外での活動は他に興味を持ってしまいう事が多くなかなか光を見たり、影で遊んだりすることは難しかった。

月齢の高い児は自分で透ける積み木やマグビルドを持ってきて地面に立てて「赤ー」などと言葉を行ってみたりマグビルドを目に当てて外の景色を見て楽しんでいた。

低月例の児には保育者が一緒にやってみることで不思議そうにしている様子も見られた。

### 室内での活動

室内での活動は比較的外より集中して光や影を目で追っていたり、壁に光が照らされると高月例の児は「タッチ」と言って壁に着いた色にタッチしていた。

低月齢児は高月齢児の真似をして影にタッチしていたりなんとなく光も目で追っていて楽しんでいる様子だった。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

0歳時での活動は自発的な行動が無い分難しかったが、その中でも子どもたちの「はっ」とした表情や何気ない発見と一緒に体験することが出来てよかった。

常に保育室内に教材を置いてみると、自分たちで手に取ってみたり、目に当てて光を見ようとして見たりと自分たち自身でやってみよう、楽しんでもみるなどの姿も見られた。

晴れの日や雨の日、曇りの日などの違いも保育者が伝えることで、一緒に「(影) ないねー」と言ってみたり子どもたちと同じことを共有できて良かった。

1年間で終わることなく継続して子どもたちの発見や繋がり、発展が見られるとより子どもたちの成長に繋がったり新たな発見や気づきを得られるのではないかと感じた。